



多田小学校通信

多田の里 だより



令和5年2月1日号 ミマモルメ配信

今後の予定について

2月1日現在 各学年の予定は学年だよりをご覧ください

新教育課程に向けて

1月13日「令和5年度新教育課程の導入について」でお知らせしました、来年度の多田小学校の改革についてご質問やご意見をいただきありがとうございました。市内でも初めての取り組みであり、これまでの当たり前をもう一度問い直しているところです。多くの小学校での教育システムは、学級担任と専科教員で構築されています。おそらく明治時代後半から続くシステムです。私たち教職員もその体制を当然のものとして小学校教育に取り組んできました。しかし、社会情勢も大きく変わり、学校もその渦の中で新しい教育へと進化させていくことが必要となっています。言い換えれば、今ここだけの話でなく、これからの社会を生きていく子どもたちにとって、何が必要なのかを考えていくことが重要なのだと考えています。

学校では、毎年様々な課題に直面していきます。その都度教職員と子どもたちや保護者のみなさんと対話しながら進めていきます。しかし、なかなかうまくいかないこともありました。例えば、ある学級が落ち着かなかつたり、担任の先生が休暇に入っても代替の先生が見つからなかつたりしました。（市内外の学校でも同様です。）それに加えて、コロナ関連で先生が突然長期間休まなければならないことも重なつたりしました。その対象となった学級の子どもたちにとって、決して良い状況ではありません。何とかしなければなりません。担任がいる・いないだとか、A先生が担任でよかったあるいは悪かったということは、子どもたちみんなにとって本当に良いのだろうかという問いが教職員の中で議論となりました。

教職員の中でも、教科担任制や学年担任制、午前5時間授業について、様々な意見がありました。時間をかけ話し合いながら、子どもたちにとって何が良いことなのかを真ん中に据えて、令和5年度新教育課程を構築してきました。議論を重ねるといことは、当然意見のぶつかり合いも生まれます。ぶつかり合いながらも、意見の違う相手を尊重し、自身の意見とすり合わせていくことをねばり強く続けた結果です。校長の指示で策定したものではなく、教職員の議論の結果であったことは、ぜひともお伝えしたいことなのです。

多田小学校の子どもたちにとって、これから必要な姿とは、このような議論ができるようになることだと考えています。そのことを伝えられるようになるには、子どもたちのそばにいる我々教職員が実践者でなければならぬと改めて思います。子どもたちは大人の姿を傍で吸収し、大人へと成長していきます。多田小学校の教職員は新教育課程の実践に向け取り組んでいきます。その過程を子どもたち、保護者の皆さん、地域の方々と共に進んでいこうと思います。

2月 参観後に説明会を開催いたします。全教職員出席で行いますので、ぜひご参加ください。保護者の皆さんのご意見をお聞かせください。賛否両論あると思います。胸襟を開いた大人の話しあいこそが、大人から子どもたちへのメッセージだと思うのです。

すずかけタイム

3学期から全学年で「すずかけタイム」がスタートしました。各教室では、はじめに先生が絵本を読んでいます。子どもたちは絵本と先生の声に集中していきます。どんどん絵本の世界に入り込んでいきます。集中力、それも一つの教室という空間で共有され、他者とともに自分で自分をコントロールしていきます。一体感のある時間です。読み聞かせのあと、先生を中心に体操に移行します。「すずかけ体操」です。日ごろと少し違う姿勢をするストレッチとバランスが中心です。身体を動かすと血液が体中を巡ります。脳にも巡ります。すると脳が活性化し始めます。と同時に不安定な姿勢をとるので、体幹の筋肉も鍛えていきます。するとどうでしょう。学習中の姿勢がよくなっていくのです。ということを目指して新たに取り組み始めました。心と体と学習を関連付けた学習時間です。毎週木曜日の朝、全校で取り組んでいます。その効果はこれからですが、教室でまっすぐ座れない子どもたちをみんなで楽しく鍛え、楽しい集中時間を目指しています。いずれにしても子どもたちの目が楽しそうなのが印象的です。勉強はしんどいもの？くるしいもの？なのでしょうか？その答えはこれからの多田小の子どもたちの姿に表れてくることでしょうか。楽しく朗らかに成長してほしいのです。